

1.事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

環境生活総務課長 坂栄 一秀

電話番号

0852-22-5778

事務事業の名称	環境保全功労者知事感謝状贈呈事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	環境保全活動の意欲を高め、活動の裾野を広げる。
事業概要	環境保全（自然環境の保全、快適環境の形成）に関し特に顕著な功績にあった者に対し、その功績をたたえ感謝するため知事感謝状を贈呈する。	

2.成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 贈呈者数	目標値		8.0	8.0	8.0	8.0	人
		取組目標値						
	式・定義 過去4年間（H23～26）の平均受賞者数（8件）以上の推薦者数	実績値	9.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3.事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	76	76
うち一般財源 (千円)	76	76

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5.評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成28年度は13件（個人8、団体5）、各地域（石見、隠岐、県外）から推薦があった。審査の結果、8件を被贈呈者とし、贈呈式を実施した。

6.成果があったこと（改善されたこと）

これまで見つけられなかった方々の掘り起こしができ、環境保全活動への動機付けができた。

7.まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

照会先の取組状況によっては、対象者の十分な掘り起こしができていない場合があるといえる。

②困っている状況が発生している「原因」

定期的に行っているため、目新しさがなく、普及啓発に十分つながっていない。

③原因を解消するための「課題」

県民への広く環境保全意識の啓発、普及につながるような感謝状とするため、当該事業の位置づけについて検討を行う。

8.今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

制度変更も含めた検討を始める。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）